

映画って本当にいいですね！！映画好きの人に贈る 映画の紹介

長倉保博

聲（こゑ）の形（2016年国内週間興業ランキング 初2位）

原作は、全7巻の少年マガジンに連載されていた漫画で、2015年の「このマンガがすごい」男子版の1位でした。（これを書いている時点ではまだ未読です。）

ストーリーは（ネタバレなし）、主人公がとある理由から、主人公が昔いじめていた聴覚障害のある少女に会いに行き、また友だちになろうとする話です。

～ここからネタバレ～

この話は、差別やいじめについても大きく取り扱っていますが、一番大きなポイントは、コミュニケーションの難しさと罪悪感（より具体的に言おうと言ってしまったことと、言えなかったことに対する後悔）です。主人公とヒロインは、共に自分の存在が他人に対して迷惑なのではないかと悩み、自殺をしようとします。ですが、それを止めたのもまた、主人公とヒロインです。

ひとことで言えば、「どんな考えも他人に言わなければ伝わらない」ということです。（ちょっとまとめすぎたので、後で追記します。）

アニメーションとしての作品の評価としては、この作品は、一部では人気のあった京都アニメーションのこの時点での最大のヒットです。京都アニメーションは「けいおん」「Free!」といったヒット作で知られるアニメーションスタジオです。

日常地続きの何気ない、でも間違いなく、登場人物たちの今という日常が、人生となっていく瞬間を切り取って描くのがうまいアニメスタジオです。

君の名は。（2016.8.26 興業ランキング 1位）

2016年、最大のヒット作となった映画で、作品の内容についてはもう語られているので、この映画を撮った映画監督の新海誠氏が「君の名は。」以前に撮った作品について書きたいと思います。

2002年に「ほしのこえ」で、映画監督としてデビューした新海誠ですが、この作品は本人がゲーム造りをする傍らで、CGを多用して自主製作で作られたSFラブストーリーで、この時点ですでに今に通じる作家性が現れています。

その作家性とは大きくまとめると3つ。1つ目が抽象化された日常表現です。これは、君の名は。の前作となる「言の葉」の舞台になった新宿外苑の美しい絵によく現れています。

2つ目は、逢えない程遠くに離ればなれになった運命の二人です。（2007年につくられた、～）と言う映画では、運命に翻弄される二人の絆を描いています。

3つ目は、星が物語のテーマに大きく関わることです。デビュー作の「ほしのこえ」

や2012年に作られた「星を追う子供たち」で描かれていて、「君の名は。」にも流れ星が話の重要なカギとして出てきます。

「君の名は。」は監督した新海誠にとって過去に撮った映画の良かった所を集めた集大成的な作品になっています。ただし今までの映画と違うのは、SF的な世界観を使いながらも、ちゃんと3.11の大震災を体験した日本に対しての監督なりの答えをストレートに出してきた事で、物語のメッセージが解かりやすくなったの、この大ヒットと好評価だと思います。

この世界の片隅で (2016. 10. 12 興行成績 初10位)

こうの史代の漫画のアニメ映画化作品でクラウドファンディングで資金を調達して作られた映画になる。物語は、戦争末期の広島を舞台に、主人公の浦野すずが呉にある北條周作のもとに嫁ぎ、そこで戦争の中で暮していく話です。

戦争を扱った映画としては、原爆を描いてる点において火垂るの墓を、戦争の中で生き方を模索する若い男女の話としては風立ちぬを連想しますが、今回のこの映画の監督の片渕須直は元々魔女の宅急便の監督の予定だった人で（その後、宮崎駿に変更）この映画を撮る前にマイマイ新子と千年の魔法と言う、児童向けだが、その実暴力や人の生と死がテーマの傑作を作っています。

この世界の片隅では、戦争の悲劇だけではなく、人生の中にある喜びと悲しみを繊細で優しく、どこか生々しい絵作りで見事に表現した映画で本当に素晴らしい大傑作です。

長倉保博さんプロフィール

著述業（元看護学教授）清水昭美私設秘書で、映画と音楽のライター（ただしどちらも開店休業状態）

これまでに見た映画、DVDの数は20,000とも30,000本とも。他に音楽にも詳しい。アルバイトのかたわら、映画の試写を見て、感想・映画の紹介などを行っている。

